

■ 会社概要

会社名 株式会社クリーンテック販売

代表者名 中野一明

所在地 〒472-0007 愛知県知立市牛田町地内62番地

電話番号 0566-81-3455

F A X 0566-81-3455

設立 平成25年11月18日

事業内容 完全イオン化した銀イオン各商品の開発 製造・販売

スプレー ゲル フォームなど開発

遮熱塗料 遮熱ガラスコートの開発販売

カーケミカル用品 開発製造

沿革 平成24年 1月 中野商店開業 銀イオン各商品開発 製造・販売

遮熱塗料販売 カーケミカル及び各ケミカル商品開発

平成25年11月 株式会社クリーンテック販売設立

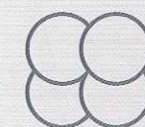
銀イオン商品の開発・拡販

遮熱塗料 ガラスコートなど販売

銀イオン



人に 自然に 未来に
Cleanな環境をつくります



株式会社クリーンテック販売

〈製造元〉

 クリーンエージ

株式会社 クリーンテック販売

〒472-0007 愛知県知立市牛田町地内62番地
TEL : 0566-81-3455

〈販売代理店〉

『クリーン エージー』は、

業界初の高安全・高安定化を実現
強力な除菌力が、病原微生物を分解
徹底して不活化します



■ 独自製法で高純度の銀イオンに

『クリーン エージー』の製法はじつにシンプルです。

まず、銀化合物を独自の方法で溶解させ原子(200ピコ)レベルにイオン化します。次に、繰り返し生成をおこなって毒性を完全に切り離すことで、安全性の高い銀イオン水ができます。

銀化合物を溶解させるための物質は、人や環境にやさしい自然由来のものです。その物質で銀イオンを包み込むことにより銀に戻ろうとする力を封じ込み、従来、技術的に難しいとされていた銀イオンの安定化に初めて成功。きわめて高純度の銀イオン水を開発しました。(国際特許出願済)

■ 無類の除菌力+高安全性

清潔志向の高まりとともに市場には、銀イオンと称した商品が数多く見られます。しかし、本当に安全にイオン化された商品がどれだけあるでしょうか?

『クリーン エージー』は、水中に銀イオン以外の不純物を一切含んでいないため、いつでも身近なところへ安心してお使いいただけます。

独自の社内試験、さらには第三者検査機関による安全性試験、抗菌性試験において厳格な製品テストをすべてクリアしており、その確かな品質を実証しています。(公的エビデンスあり)

■ 快適空間をお約束する

室内の除菌・消臭には、『クリーン エージー』を活用した超音波加湿器のご利用をおすすめします。*1 *2

霧化した銀イオンが、部屋中に浮遊した病原微生物を捕らえ細胞を分解、完全不活性化させます。空間の嫌な臭いの元も分解し消臭効果を促します。

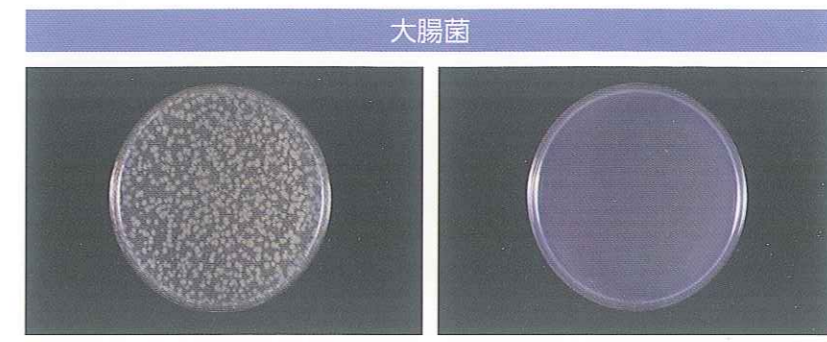
安全で自然環境にもやさしい『クリーン エージー』は、使うほどに効果を実感できる新次元の除菌製剤です。

*1 本品を純水(蒸留水、精製水)で希釈してご利用ください。水道水・ミネラルウォーターなどは、水中に水以外の成分を含み、時間の経過とともに銀化合物に変化しますので除菌効果が弱減する場合があります。
*2 使用後は貯水タンク、振動弁などごまめに洗浄してください。

試験液の生菌数測定結果

試験菌	対象	生菌数(/ml)			
		開始時	30分後	2時間後	24時間後
大腸菌	検体	5.5×10 ⁵	<10	<10	<10
	対照	5.5×10 ⁵	4.4×10 ⁵	5.6×10 ⁵	3.0×10 ⁵
大腸菌 O-157	検体	5.2×10 ⁵	<10	<10	<10
	対照	5.2×10 ⁵	5.6×10 ⁵	5.0×10 ⁵	5.6×10 ⁵
モラクセラ菌	検体	5.1×10 ⁵	<10	<10	<10
	対照	5.1×10 ⁵	6.1×10 ⁵	6.3×10 ⁵	6.6×10 ⁵
緑膿菌	検体	5.6×10 ⁵	<10	<10	<10
	対照	5.6×10 ⁵	4.9×10 ⁵	2.8×10 ⁵	1.3×10 ⁵
黄色ブドウ球菌	検体	2.3×10 ⁵	<10	<10	<10
	対照	2.3×10 ⁵	5.6×10 ⁵	5.0×10 ⁵	5.6×10 ⁵
MRSA 院内感染	検体	6.3×10 ⁵	<10	<10	<10
	対照	6.3×10 ⁵	5.6×10 ⁵	7.4×10 ⁵	2.3×10 ⁵
白癬菌	検体	—	<10	<10	<10
	対照	5.2×10 ⁵	—	5.5×10 ⁵	1.1×10 ⁵

<10:検出せず



30分後対照

30分後検体

クロコウジカビ

試験菌	対象	生菌数(/ml)			
		開始時	24時間後	48時間後	72時間後
クロコウジカビ	検体	4.4×10 ⁵	<10	<10	<10
	対照	4.4×10 ⁵	1.7×10 ⁵	3.8×10 ⁵	2.2×10 ⁵

<10:検出せず

アクネ菌

試験菌	対象	生菌数(/ml)			
		開始時	5分後	15分後	30分後
アクネ菌	検体	—	<10	<10	<10
	対照	6.4×10 ⁵	7.4×10 ⁵	9.0×10 ⁵	7.6×10 ⁵

<10:検出せず

スギアレルゲン(Cryj1)測定結果

試験液	反応時間		
	直後	2時間	24時間
対照試験液	5.2	検出せず	検出せず
	93	100	96

定量下限1.6ng/

ノロウイルス

試験ウイルス	対象	Log TCID ₅₀ /ml		
		開始時	2時間後	24時間後
ネコカリシウイルス	検体	7.5	<4.5	<4.5
	対照	7.5	6.5	6.3

<4.5:検出せず

安全性試験 急性経口毒性試験:マウスを用いたLD50 2000mg/kg以上 皮膚一次刺激性試験:ウサギを用いた無刺激性の範疇

愛知県衣浦保健所にて食品細菌試験検査成績書

【一般事務机】銀イオン水1ppm程度を週3日6時間 超音波加湿器にて検査

検査項目	細菌数
試験品の名称	(100cm ² 当たり)
一般事務机 10cm×10cm	300以下

所見:半径10m以内は菌の発生がほぼなし 通常200,000個位はある

*但し超音波以外での加湿器、銀イオン水を水道水にて希釈したものは検査をしておりません。

【手のひら】銀イオン水50ppmでの試験

検査項目	細菌数
試験品の名称	(100cm ² 当たり)
右手の平検査前、細菌数	370,000個
右手の平塗布10分後、細菌数	300以下

【手のひら】エタノールでの試験

検査項目	細菌数
試験品の名称	(100cm ² 当たり)
右手の平塗布10分後、細菌数	2,300個

所見:エタノールでは菌は死滅せず 30分後には当初より増えている可能性あり



クリーンエージー 2000ml